

市議会だより

令和4年12月定例会の内容をお届けします。

CONTENTS

- P 2 12月定例会の概要
会議結果
- P 3 市政一般質問
- P 11 委員会活動報告
- P 16 編集後記



鬼火（於：第二小学校）

12月

定例会

島原市の

こんなことが決まりました！

会 期

令和4年12月2日～12月21日 20日間

条例制定… 2件	補正予算… 4件	議員派遣… 1件
条例改正… 5件	決 算… 1件	請 願… 1件
一般議案… 2件	専決処分… 2件	合 計 18件

審議された議案とその結果

議案番号	件 名	議決結果
第45号	令和3年度島原市一般会計歳入歳出決算	認 定
第55号	専決処分の承認について（令和4年度島原市一般会計補正予算（第7号））	承 認
第56号	専決処分の承認について（令和4年度島原市一般会計補正予算（第8号））	承 認
第57号	島原市個人情報の保護に関する法律施行条例	原案可決
第58号	市長及び副市長の給与に関する条例及び島原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第59号	一般職の職員の給与に関する条例及び島原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第60号	島原市職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
第61号	島原市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第62号	島原市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第63号	島原市温泉給湯条例の一部を改正する条例	原案可決
第64号	建設工事請負契約の一部変更について	原案可決
第65号	公の施設の指定管理者の指定について（有明文化会館・有明資料館）	原案可決
第66号	令和4年度島原市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
第67号	令和4年度島原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第68号	令和4年度島原市温泉給湯事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第69号	令和4年度島原市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
請願第2号	国に対し「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」の提出を求める請願について	不 採 択
	議員派遣について	決 定

一般質問

市政のここを問う！

12月6日(火)

○松井大助 議員 (4ページ)

- ・市長の政治姿勢について
- ・城下まちとしての街づくりの展望
- ・島原城の堀対策について
- ・開発公社の活用について
- ・くずれゆく眉山対策について

○森園浩太郎 議員 (4ページ)

- ・島原市のスポーツ振興について
- ・マイナンバーカード交付事業について
- ・市民の声から

○生田忠照 議員 (5ページ)

- ・交流人口増加のための観光業について
- ・有明の森レストラン不正支出問題について
- ・新設道路の進捗について

○松坂昌應 議員 (5ページ)

- ・武家屋敷(古民家)に住む
- ・堀の周りの遊歩道と大手広場
- ・除草剤は使っているのか
- ・ごみ減量作戦の目標達成へ
- ・インボイス(適格請求書)制度

12月7日(水)

○林田 勉 議員 (6ページ)

- ・広域農道沿い 小学生・子供達の通学路、歩行者の安全の確保を！
- ・市のSNS、情報発信主体から市民との相互活用で安心できる街づくりを！
- ・令和5年度・新年度予算編成についての方針は

○本田みえ 議員 (6ページ)

- ・障がいがある人もない人も 全ての人が住みやすい町づくりを
- ・ワンストップ対応で市民サービスの向上ははかられたのか
- ・社会の半分は女性 社会の仕組みを考える場にクオーター制を

○馬場勝郎 議員 (7ページ)

- ・高規格道路の進捗状況について
- ・有明庁舎内外の私有地の問題
- ・市内の空き家対策の現況
- ・島原城築城400年記念事業の取り組みについて

○北浦守金 議員 (7ページ)

- ・人口減少について
- ・水産業について
- ・市民の声

一般質問とは、市政全般に関することを議員が市に対して質問し、説明を求めるものです。全質問項目は下記のとおりです。

()の項目は、本文に内容を要約して掲載しています)



12月8日(木)

○楠 晋典 議員 (8ページ)

- ・雲仙断層群地震発生確率増
- ・子どもまんなか社会
- ・島原鉄道の可能性
- ・コンパクトシティ

○本多松弘 議員 (8ページ)

- ・持続可能なまちづくりについて
- ・持続可能な人づくりについて
- ・持続可能な地域づくりについて

○草野勝義 議員 (9ページ)

- ・近辺における軍備増強計画への見解
- ・高齢者福祉と安全対策
- ・公務員の定年引き上げについて
- ・島原市温水プール建設構想について
- ・太陽光発電と蓄電池の活用

○永尾邦忠 議員 (9ページ)

- ・出産・子育て支援について
- ・トイレのオストメイト化について
- ・緊急通報システムについて
- ・地域公共交通について
- ・今後の提案について

12月9日(金)

○本田順也 議員 (10ページ)

- ・漁業振興について
- ・祭りなどのイベントについて
- ・少子高齢化に向けた行政の今後の取り組みについて

○濱崎清志 議員 (10ページ)

- ・市民が主役・地域未来プロジェクトについて
- ・島原市の新しい学校の在り方について
- ・長崎県のケアラー条例の設置について



眉山クラブ
まつい だいすけ
松井 大助 議員

市職員の人事異動

Q 重要な事業等が控えている場合、支障を来さないように担当課長等の人事異動には考慮が必要。人事異動で配慮していることは何か。

A 事業に支障が出ないよう、配慮しながら適材適所の人事異動配置に努めたい。職員の関心事、才能分野を見極めながら配置すべき。

城下まちとしての街づくり展望

Q 鉄砲町は住民の高齢化が進み、空き家も増えている。伝統的建造物群保存地区とするための進捗状況は。

A 伝統的建造物群保存地区という保護制度では、複数の通りを面的に対象範囲とする必要があり、水路や古民家など、後世に残すべきものがある一方、様々な制約が及ぶこともあり、住民の理解、同意をいただくことが難しい状況。今後は、鉄砲町の中で文化的な価値のある土地や建

物を個別に史跡として保護していくことも併せて検討していきたい。

Q 武家屋敷通りにある麦わらぶきの家屋を、市の観光施設として活用できないか。

A 家屋全体の老朽化が進んでおり大規模な補修が必要な状況。総合的に考え、市での取得や整備、活用は現時点では難しい。ただ、所有者の意向次第では、移住・定住を目的とした物件として補修してもらった上で空き家バンクに登録し、古民家に興味を持つ人とマッチングすることで活用を図ることは考えられる。

土地開発公社の活用

Q 武家屋敷通りにある空き家に以前、空き巣が入り地域住民が心配した。空き家の利用方法が具体的に出来るまで土地開発公社で先行取得できないか。

A 土地開発公社で取得できるのは、収用事業等の公共事業に該当する土地等であるため、土地開発公社での取得は難しい。

【その他の質問項目】

◇島原城の堀対策
◇くずれゆく眉山対策



実践クラブ
もりぞの こうたろう
森園 浩太郎 議員

スポーツ振興

Q 交流人口拡大の取組でスポーツ振興をどのように考えているか？

A 交流人口拡大にスポーツ振興は非常に重要で、市経済にも大きく役立つ。本市には全国規模のスポーツ大会・合宿ができる施設があり、国際大会の誘致等を含め、島原市をスポーツ国際交流都市と位置づけるよう努力したい。

Q ①アーバンスポーツをどのように捉えているか？②スケートボード、BMX、3×3等ができる施設を設置できないか？従来はストリートスポーツのイメージだったが、五輪競技にもなり日本人メダリストも誕生している。未来のメダリストのために施設を整備を。③ペタンクやグラウンドゴルフ等も併せた施設で、老若男女、地域が交流する場を確保してほしい。

A ①②五輪種目になってきているが町なかで勝手にやるとトラブルもあると聞く。若い人たちがやりたいスポーツとして盛んになり、本市で適した場所があれば可能では。

③子供から高齢者までどうマッチングしていくか、真剣に考えていく必要があると思う。議員の提案はスポーツ国際交流観光都市を目指す上で重要なポイントだと認識している。

Q 老朽化している第一小学校体育館の対応を。

A 床の剥がれやたわみを確認しており、1月末を工期として修繕を依頼している。

市民の声から

Q ①親和町湊広場線のひょうたん池公園入り口交差点の信号機設置を含む改良の進捗状況は？
②北門交差点の渋滞について、海側からの渋滞緩和に向けて再度協議をしてほしい。

A ③第五小学校の校門設置の進捗は？
①交差点は最優先で3月完成に向け工事中。公安委員会でも3月までに信号機を設置される予定。
②警察と引き続き協議し、ドライバーの交通ルール徹底と構造的な部分の両面で進めていきたい。

③実行委員会を設置し、正門の位置やデザイン等を検討した。国道の歩道整備事業と調整が必要だが、当初予算に計上し、早期に設置したい。

【その他の質問項目】

◇マイナンバーカード交付事業
◇白山歩道橋の今後の対応は？



実践クラブ
いくた ただてる
生田 忠照 議員

築城400年記念事業

Q お堀端の魚住病院跡はどうなるのか？

A 熊本の社会福祉法人が高齢者施設を建設したいと相談に來られた。

有明の森レストラン不正支出問題

Q 上司からの指示で、不正経理を行った旨の発言はあるか？その元上司は指示を認めているのか？

A 複数の職員から具体的な指示があったという発言はあるが、元上司は認めていない状況である。

Q 市長は、議会に報告が1年以上遅れた理由として、困難な調査のため相当の時間を要したと言われたが、令和3年7月の発覚から9か月もの間、調査の痕跡がないのはなぜか？

A 令和4年2月に、数人の職員、現在の指定管理者へ聞き取りをした。

Q 市長が、調査を命じたのは令和4年の5月ではないのか？

A 事実を言うと令和4年になって現在の指定管理者に、退職した職員を含め、多額の自己資金を提供していたことが明確になり、急激に動き出した。

Q 不正に関係した職員が多くて、聞き取りに時間を要したのが、1年以上報告が遅れた理由だと言われたが、拒絶や非協力的な関係者がいたのか？

A 非協力的な関係者はいなかった。県外在住の方は、2か月弱の期間を要した。

新設道路の進捗

Q 高規格道路の、愛野のセブイレブンから先の、開通時期は？

A 森山東ICから森山西IC間の3.3キロメートルは令和5年度に開通予定である。

Q 旧地ビール跡から、池田病院へつながる道路の、開通時期は？

A 令和5年3月中の予定である。

【その他の質問項目】

◇市外からの、スポーツ有力選手への住居支援対策について



バラの会
まつさか まさお
松坂 昌應 議員

武家屋敷（古民家）の活用

Q 万町「旧堀部邸」の今後の運営は。

A 3社で構成する「水脈（みお）」という組織が、令和5年3月の事業開始に向けて準備している。

休暇型ワーケーション施設、カフェスペースやシェアオフィスの設置。地元とも連携しての運営方針とのこと。

堀の周りの遊歩道と大手広場

Q 遊歩道整備の目的は。

A 歩行者の安全を最優先として、歩行者が安全に快適に歩行できる空間を創出する。

Q 地元説明資料では、歩道と車道の境界に縁石はなかった。その後、縁石設置の話聞いた。狭い歩道ではかえって危険。自転車等の緊急避難のためにもむしろないほうがいい。ポールとか植栽でどうか。

A 必要などころには縁石を考えている。縁石がふさわしくない場所については状況を見て判断したい。

Q 島原城の周りをゆっくり歩いてもらうには駐車場が必要。大手の三角駐車場を観光客等に開放してはどうか（最初の1時間無料、続く1時間100円などで収入にもなる）。大手広場の構想は。

A 庁舎設計段階の構想は、確定ではなかった。三角駐車場は暫定的に庁舎専用駐車場としていたが、新庁舎・駐車場完成で庁舎駐車場不足は解消した。観光客の利便性、過去の経緯も踏まえ、地元の意見等も考慮しながら今後の活用を考えたい。

Q 新庁舎建設前後の大手広場の交通量変化は。新町からの入り込み車両は激減していると思うが。まずは全体のきちんとしたデータを取ってほしい。

A 交通の状況は変わっている。新町方面からの調査はしていない。

【その他の質問項目】

◇除草剤は使っているのか
◇ゴミ減量作戦の目標達成へ
◇インボイス制度への対応



庶民の会
はやしだ つとむ
林田 勉 議員

広域農道（グリーンロード） 沿い、小学生、子供たちの通 学路、歩行者の安全確保を！

Q 広域農道の現在の交通量は。管理者は誰か。

A 令和3年度午前7時から午後7時までの12時間で1万2千台が通行している。管理者は島原市である。

Q 湯江地区の子供たちが農道沿いを通学している通学路はどこか。利用している人数は。

A 農道を利用しなければかなり遠回りになる。保護者の申出を受け、通学路としている。現在21名が通っている。

Q 歩道部分が40センチメートルしかない危険な部分があり、大きな事故が起きる前に市として早急に、歩行箇所改善をすべきであるが。

A 危険除去に向け、畑の所有者あたりに協力依頼をしてみたい。

市のSNS・情報発信主体が ら市民と相互活用で安心でき る街づくりを！

Q 昨年からは始めた「街の不具合通報システム」とは。

A 市の公式LINEを登録した人が道路・公園などの損傷を市へ通報できるシステムである。

Q 「街の不具合通報システム」の類似利用で「よろず困りごと相談・通報システム」を新設できないか。市民が「こんなときはどうすればいい？」や虐待・DV・ネグレクトなど事前の活用や、「街のいいところ見つけた」など身近な情報発信をしたらどうか。

A 便利さと併せてルールも一緒に考えていけば、いい方向に進めると思う。

新年度予算編成について方針は

Q 特色と方向性があれば説明を。

A 人口減を見据えた地域コミュニティ・企業誘致・交流人口増加、特に少子化対策を重点施策で詰めていく。

Q 高齢者は本市の財産。「高齢者チャレンジ事業」を創設し、第三の人生を市の活性化へ喚起できないか。

A 提案は高齢者に夢を与える前向きなもの。子育て世代とは別に高齢者なりの支援があると思われる。



バラの会
ほんだ みえ
本田 みえ 議員

障がいがある人もない人も 全ての人が住みやすい町づく りを

Q 障がいの者の日頃の生活実態を把握しているか。

A 全ての把握はできていない。2〜3年に1度の認定調査で生活状況を把握している。代表と道路診断を行い、アドバイス、声を届けてもらっている。

Q ガイドヘルパーの利用は。

A 通常、数日前に利用の申出。当日でも都合がつけば利用可能。

Q コロナ対策での障がいに応じた対応がされているか。

A 連絡できる人へは、市・県のホームページで知らせたり、できない人へは、地域の支援者の協力を経てつなぐ。福祉サービスの利用者は、事業者へ相談し受診案内をしてもらうようにしている。

ワンストップ対応で市民サー ビスの向上ははかられたのか

Q ワンストップ化で市民サービスの向上はどうなったか。

A おくやみコーナーを新設し、移動することなく一つの窓口で様々な手続きが済む。住民票の異動、印鑑登録証、福祉関係、保険関係、介護関係の手続き。死亡とは関係なく、農地証明も市民窓口サービス課でできる。

Q 直営以外で行っているところの責任の所在はどうなっているのか。

A 教育委員会が管理する施設の、行政財産目的外使用許可が必要な件は、責任の所在は教育委員会にある。

Q 何回も足を運ばせず、最初からきちんと対応を取っていただきたいが。

A 市民に接するとき、きちんと情報等を持った上で責任ある対応をすることは基本。

社会の半分は女性 社会の仕 組みを考える場にクオータ制 を

Q 朝来市の事例、どのように取り入れていくのか。

A 地域の女性を含め、顔の見える関係で話し合いの場をつくってもらおうよう提供したい。



平成会
ばば かつろう
馬場 勝郎 議員

高規格道路の進捗状況

Q それぞれの用地買収率と工事進捗率はどうか。①出平有明バイパス3・4キロメートル。②有明瑞穂バイパス10・4キロメートル。③瑞穂吾妻バイパス6・4キロメートル。

A ①用地買収率91・9%、11月末の工事進捗率58%、令和6年度完成予定。②11月から用地交渉が始まった。令和11年度完成予定。③用地買収率59・2%、令和7年度完成予定。

Q 島原道路の全線開通は何年後ぐらいになるのか。目標はどうか。

A 有明―瑞穂間、瑞穂―吾妻間が同時に進んでいるが、一番最後の部分の有明―瑞穂間が令和11年度の完成を目標として設定されているので、現時点では、令和11年度が全線開通の目標ということになる。

有明庁舎内外の私有地の問題

Q 有明庁舎、有明庁舎付近の駐車場、保健センター、有明総合文化会館の敷地の中に私有地があるが、全必要ではないところもある。

あれだけの規模の有明庁舎が必要なのか。大きな荷物になっては困る。公共施設等総合管理計画の概要は。

A 公共施設等総合管理計画は、公共施設の計画的な更新、統廃合、長寿命化により適正配置を実現させ、財政負担の軽減、平準化を図るもの。目標は40年間で43%、10年間で約10%の施設面積を削減し、財源不足を解消しようとするもの。有明庁舎は、令和20〜22年度頃に規模を縮小して建て替えを検討しており、教育委員会、農林水産部、水道課、有明支所の収容を想定し、現在の3分の2程度が適正規模と考えている。

Q 農協が有明庁舎を借りていた。令和5年1月で期限を迎えるが、その後の利用者は見つけているのか。

A 現時点では、見つかっていない。

Q 有明総合文化会館を一つの例に挙げると、年間23%程度の稼働率で年間192万円もの借地料を支払っている。相手の立場も考えながら、返す方向で最大限の努力をしてもらいたいが、どうか。

A 長年、借地に協力していただいているが、世の中の状況が変わっているのので、改めて現実を示して交渉に入りたい。

【その他の質問項目】

◇市内の空き家対策の現況
◇築城400年記念事業の取組



実践クラブ
きたうら もりかね
北浦 守金 議員

人口減少

Q 島原まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗・達成状況は。

A 人口は、令和17年に4万人以上確保が目標だが、現在、ほぼ推計どおり。達成状況は主な指標で、農・水産業の新規就業者数は118%、農業所得600万円以上の経営体は101%、観光入込客数は50%、宿泊者数は60%。

Q 婚活、結婚、出産、子育てに関する事業が人口減少対策には一番効果的だと理解しているが、どうか。

A 大事なこと。仕掛けていかなければならないと感じている。

Q 婚姻数の状況は。

A 平成29年度が152件、30年度が159件、31年度が141件、令和2年度が130件、令和3年度が110件。

Q 人口減少は、公共施設等総合管理計画への影響もあるのでは。

A 税金等が減少する。可能な限り計画を前倒しし、適正管理に努める。

Q 子供を中心としたまちづくりをしていかないと人口減少は抑えられない。本市で結婚して、子供を産み、育てていただく環境づくりが大事。①多子世帯支援が必要では。②財源確保のために、子供子育て税はどうか。

A ①第2子からの保育料無償化等取り組んでいる。子育て支援は、自治体間で過剰な競争となっている。子供たちの教育等は国が担ってほしい。②大変ありがたい話。子育てなどは国家が担うことが大前提。

水産業

Q 気象変動により影響が出ている水産物がかなりの数あるとの全国調査で報道されているが、有明海も対象か。

A 長崎県では14品目で影響が起っていると、現場の意見を基に回答されている。

Q 温暖化による有明海（漁場環境）への影響を、地元漁業者と一緒に調べて調査する必要があるのでは。

A 調査は、具体的な水産業の支援等を研究していく上で必要と認識。

【その他の質問項目】

◇市民の声



バラの会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

子どもまんなか社会

Q 来年度4月から子ども家庭庁が設置されるが、本市としては既にことん子育てにやさしい島原市として子育て政策を展開してきた。さらに、子供たちや保護者のニーズに沿った政策立案のためにも、市長、副市長、教育長をはじめとする行政が子育てや教育といったテーマで教育懇談会、教育懇談会を開催すべきではないか。

A 子供施策の内容・目的に応じて子供や保護者の意見を表明する場は必要であると思う。教育現場、保育の現場の声を聞きたい。子供が一人のしつかりとした人格を持った大人として育っていくために、保護者、現場、行政それぞれが何を頑張らなければいけないのかを議論することは非常に有意義であると思う。

島原鉄道の可能性

Q 島鉄北目線についての在り方検討会が、長崎県を中心につくられて

いる。長崎自動車グループを親会社として再建のときだったと思うが、このコロナでの影響はどうなのか。

A 鉄道乗客数が平成28年度142万5000人だったのが、令和3年度103万1000人と激減している。鉄道部分の赤字を補っていた観光分野も落ち込んでおり、全事業での赤字額も拡大している状況。平成20年に南目線が廃線となった状況よりも厳しさを感じている。

Q 市民の足、そして観光分野でのアクセスと大三東駅といった観光拠点という面で考えて、本市まちづくりにおいて欠かすことのできない交通手段であることは揺るがない。今こそ、市民総出で乗って応援することが必要ではないか。4万人の足キャンペーンは再開するべきではないか。

A ぜひとも市民の方々に乗っていただきたい。こういった支援がさらに行きわたるためにも国の政策がないものか調べてみたい。また、通勤や出張などの利用促進のためにも職員をはじめ、議会や市民の方々にもぜひ推進していただきたい。

【その他の質問項目】

- ◇雲仙断層群地震発生確率増
- ◇コンパクトシティ



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

持続可能なまちづくり

Q 地域コミュニティの現状と可能性について。持続可能な運営のためには、活動経費の確保、権限移譲が必要だと考えますが？

A 地域の将来を見据え、顔の見える関係づくりに取り組まれ、安中まちづくり協議会を設立。今後は、検証しながら市内へ広げていきたい。職員の減少が見込まれる中、地域でできる部分を取組んでもらい、国の集落支援員制度の活用など、人的・経済支援も検討する。

Q 地域デジタル通貨は、導入コストも安価になり費用対効果、地域コミュニティの観点からも有効だと考えますが？

A 導入について、複数市で連携した広域的な取組が必要なので、他の事例を参考に検討する必要がある。

社会教育施設及び学校教育施設の総合管理計画

Q 人口減少に伴い、学校規模の適正化が検討されていますが、進捗についてお尋ねします。

A 新しい学校の在り方を基にした小・中学校再編基本計画の素案を作成中。今後は、意見を聴取しながら児童・生徒の教育効果を最優先とし、大きな視野で適正配置に努めていきたい。公民館については地域コミュニティの活動拠点であり、配置については、学校施設の議論を踏まえ検討したい。

Q 施設ごとではなく機能別の集約で経費の削減、世代交流が期待できると考えますが？

A 四小と杉谷公民館の併設型の優良事例があり、いろんな視点を含め研究を進めていきたい。

【その他の質問項目】

- ◇GIGAスクールの利用状況
- ◇コロナ禍での学校給食
- ◇広馬場下埋立地の利用計画
- ◇霊丘グラウンドの代替地
- ◇広馬場交差点
- ◇島原城築城400周年



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

近辺における軍備増強計画へ の見解

Q 島原市で実施された長崎県国民保護訓練について、テロやミサイルの想定では市民の避難意識が生まれていない。特にミサイルでは行動時間も非難する場所もない。自然災害を基本として避難訓練を行うこと。

A 今回の訓練はテロ行為発生時における連携強化を図ることを目的に避難行動を行った。今後も地域住民の顔の見える関係を構築し、自然災害のみでなく、あらゆる場面でその機能を発揮できる日本一の自主防災会を目指したい。

Q 佐賀空港にオスプレイ配備が計画され、長崎県では水陸機動団が大村にも増強される。軍備増強計画についての見解は。

A 我が国を取り巻く安全保障の環境を考えると、国民の生命、財産を守るためにやむを得ないと考える。今後の動向に注視していきたい。

高齢者福祉と安全対策

Q 65歳以上の高齢者人口、独居高齢者、要介護認定を受けた人数は。

A 高齢者人口は1万5613人、高齢化率は36・12%、独居高齢者は

2620人、要介護認定者数は3392人である。

Q 緊急通報システム、月額負担金300円を無料にすること。

A 市の財政事情もあり、負担金として担っていたらきたい。

Q 運転免許証返納者に対しての補助事業は。

A 65歳以上の方へタクシー券を年60枚交付している。

島原市温水プール建設構想

Q 島原市は、学校プールの集約化を進めており、新たな温水プールの整備等を計画している。今後の建設構想内容を。

A 温水プール、小学校プールの老朽化が進んでいる。温水プールはスポーツの振興、健康増進等の観点からも存続の声が強くあり、学校プールの受皿として霊丘公園内のグラウンドに決定。令和7年度に完成予定。

Q グラウンドゴルフなど運動広場の代替策として、霊南埋立地の活用を。

A 霊南埋立地は県所有の土地であり、県とも調整しながら検討する。

【その他の質問項目】

◇公務員の定年引上げについて、具体的内容を追求

◇太陽光発電と蓄電池の活用について、光熱費が高騰していく中で、自治体として節約に向け調査研究していくことを要求



公明党
なご おくにただ
永尾 邦忠 議員

出産・子育て支援

Q 本市の出産・子育て支援の事業内容は。

A 特定不妊、不育治療費助成、産後ケア、母子保健、子育て世代包括支援センター、産前産後ママサポート、すこやか赤ちゃん子育て、副食費代の援助、ファミリーサポートセンター、子育て支援等の事業。

Q 支援の財源である過疎債の使い勝手が悪くなった。一般財源からの組み替え額は。

A 令和3年度決算では、約4千万円をカットされ、その分を一般財源で対応。

Q 伴走型相談支援、出産・子育て応援交付金について。

A ①本市で早急に取り組む考えは。②妊産婦が活用できるタクシー券などの補助メニューを。

A ①面談の実施と出産、子育て応援ギフトとして各5万円相当を支給する支援。今定例会に補正予算を上げたい。

②メニューは今後検討。妊産婦、子育て等に有効に活用したい。

Q 大石知事は18歳までの医療費助成制度の創設方針を明らかにした。県内9市町が助成。本市の対応と考

A 制度の構築について、県及び市町と連携して実現の方向で取り組んでいきたい。

トイレのオストメイト化

Q ①本市の設置状況は。②設置費用は。③バリアフリー推進協議会寄贈の前広便座を、ゆとろぎの湯の駐車場屋外トイレに設置予定だったが、現状は。

A ①市内14か所に設置。②一般的な器具設置で約100万円。③把握していないので、設置状況等を確認したい。

Q オストメイトよりも費用が安い前広便座の設置について、公園のトイレなど少しずつでもいいので、設置の推進をお願いしたい。

A 新施設には多目的トイレを導入。前広便座も費用がかかるので、財政事情等も勘案し、検討したい。

【その他の質問項目】

◇緊急通報システム

◇地域公共交通
◇若者の路上ライブ（音楽活動）への支援

◇スケートボードの練習コーナーが広場で若者の応援を



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

漁業振興

Q 全国的な漁獲量減少の原因の一つとして温暖化が考えられるが、海の環境はどのように変わったのか。

A 有明海の海水温等の数値は、平成20～30年度にかけて、11、12、1月のそれぞれ中旬の平年水温の平均値は約10～18度、海中の栄養分となる無機態窒素は約100～200マイクログラムである。市内のノリの生産量が低下した令和3年度の同時期の水温は約11～19度、栄養分は約120～490マイクログラムで、特に水温は1度程度の上昇が確認されている。

Q 大三東漁港は干潮時に船の出入りができず、緊急を要する場合、救命できない可能性がある。しゅんせつ事業の進捗状況はどうか。

A 有明漁協からの要望を受け、国の補助事業の要件となる機能保全計画書の修正や堆積土砂量の把握をするための深浅測量及びしゅんせつ工事の実施設計に係る予算措置を行い、現在、業務委託を発注している。しゅんせつ工事は、令和5年と6年の2年間で予定している。

Q 大三東、湯江漁港棧橋の整備はいつ頃を見込んでいるのか。

A 劣化が著しい状況を確認し、緊急的な応急対策として、漁協にコンパネや木材の原材料を支給して対応している。令和4年度には、湯江漁港で漁業者による修繕作業が完了予定であり、大三東漁港でも令和5年度に同様の原材料支給を行いたい。ただ、今後を考え、本格的なFRP製の浮棧橋への改良を検討している段階であり、国や県、財政部局を含めた市内部での調整を行っている。

Q 大三東漁港東側の埋立てについて、有明漁協の通常総会で無償譲渡を放棄する議案が可決承認されたが、進捗状況はどうか。

A 現在、法的根拠の確認、和解契約書案の作成を鋭意進めており、今後は返還方法など協議を進め、本年度中には解決を図りたい。

Q 水揚げされた水産物を翌日の東京豊洲市場の競りに間に合うように配送できないか。

A 確認したところ、翌日の競りに間に合うように、市内の配送業者が飛行機を活用して翌日の都市圏市場へ配送できるとともに、長崎魚市場内の運送会社がトラックで翌日に都市圏市場へ配送できると聞いている。

【その他の質問項目】

◇祭りなどのイベント

◇少子高齢化に向けた行政の今後の取組



平成会
はまさき きよし
濱崎 清志 議員

市民が主役・地域未来づくりプロジェクト

Q 各地区の参加者の反応は。

A 地域の課題や市民の未来像を存分に語ってもらうため、高校生の参加など新たな内容で開催し、多くの参加があった。参加者からは、「地域協議会の発足に向け今から準備したい」、また「話の進め方が一方的ではないか」などの意見があった。

Q 各地区の参加人数は。

A 有明地区38名、三会地区15名、杉谷地区27名、森岳地区27名、壺丘地区25名、白山地区33名、安中地区46名、合計211名。

Q 全体的に人口減少がうかがえるとして平成26年度に研究機関が試算された資料を活用されたようだが、データが古い。現状を市民に知らせるべき。正しい情報を出す努力をすべきではないか。

A 現在に近いものを出すべきだと思う。町内会・自治会別にもデータがあるという意味合いもあった。

島原市の新しい学校の在り方

Q 令和5年度の入学予定者数は。

A 一小68名、二小52名、三小41名、四小23名、五小66名、三会小25名、長貫分校9名、大三東小42名、高野小9名、湯江小31名、合計366名。一中144名、二中66名、三中44名、三会中50名、有中86名、合計390名。

Q 学校規模の適正化の必要性は。

A 文科省通知では、小学校はクラス替えが可能となることなどから12学級以上、中学校は免許外指導をなくしたり、同学年に複数教員を配置できることから、9学級以上確保することが望ましいとされている。

Q 本市での免許外指導の状況は。

A 中学校で配置している。加えて、2つの学校を兼務する教員も配置。

Q 学校規模の適正化を進めていく上では、市民に現状を十分説明すべき。現状のままでは住民サービスの低下を招くのでは。削減される事業が出てくるのか。

A 絞り込みまでは至っていないが、影響があるのとはおおりだと思ふ。

【その他の質問項目】

◇長崎県のケアラー条例の設置

委員会活動報告

本会議で付託された議案等について、**総務委員会・産業建設委員会・教育厚生委員会・予算審査特別委員会**を開き、審査等を行いましたので、その概要をお知らせします。

なお、各議案の内容（ピックアップ）については、一部掲載です。

総務委員会

審査件数7件

●第57号 島原市個人情報の保護に関する法律施行条例【可決】

pick up
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、地方公共団体も個人情報の保護に関する法律が適用される

Q本市への影響はどのようなことがあるのか。何か変わるところがあるのか。

A今回、国の統一的なルールの下に保護されることになるが、手続き等は基本的に変わらないので、市民に対する影響はないと認識している。

●第58号 市長及び副市長の給与に関する条例及び島原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例【可決】

pick up
国家公務員の給与改定に準じ、市長、副市長及び市議会議員の期末手当を改定する

Qこういう議案が出るたびに、島原市特別職報酬等審議会に諮ったのかという質問が出るが、市当局はどういう見解を持っているのか。

A島原市特別職報酬等審議会条例の第2条に、一（略）議員報酬の額（略）に関する条例を議会に提出しようとするときには、あらかじめ、当該報酬等の額について審議会の意見を聞くものとする」となっている。今回のように期末手当等に関しては、率の変更であり報酬月額の変更ではないので、審議会に諮る必要はないと判断している。

Q議案の提出方法について、議員報酬と市長、副市長の給与を一括提案で議案を提出するのは、雑だと思いが、どうか。

A県内13市のうち本市を含めた12市が市長部局のほうで一括で提案させていただいている。

●第59号 一般職の職員の給与に関する条例及び島原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例【可決】

pick up
国家公務員の給与改定に準じ、一般職の職員の給与を改定する

Q会計年度任用職員の期末手当を改定しない理由は何か。

A今回の給与改定については、国の人事院勧告に基づいて行っており、勤勉手当の支給率を引き上げる内容の勧告となっている。現行の地方自治法等で規定されている会計年度任用職員制度では、期末手当は支給できるとされているが、勤勉手当の支給については規定がない。勤勉手当については、各地方公共団体における期末手当の定着状況等を踏まえた上での検討課題とされている。現在、国において制度の見直しについて検討がなされているので、今後の法改正等の動向を見守っていききたい。

●第60号 島原市職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例【可決】

pick up
・定年年齢の引上げ
・役職定年制の導入
・定年前再任用短時間勤務制の導入

Q定年が延びた上に再任用も増えてくると、若い職員の採用が少なくなるなど、年代的にアンバランスが生じないかと心配するが、どうか。

A今回の定年年齢の引上げに伴い、定年退職者が2年に1度しか出てこない形になるが、定年退職者がいない年度についても一定人数を確保した上で、年齢構成の偏りを防ぐために、複数年度間で新規採用職員数の平準化を検討する必要があると考えている。

●第61号 島原市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例【可決】

pick up
国の取扱いに準じて限度額を引き上げる

●第62号 島原市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例【可決】

pick up
国の取扱いに準じて限度額を引き上げる

Q供託金以外はほとんど公費で賄えるようになってきているが、1人の候補者に対する公費負担は最大で幾らになるのか。

A 選挙運動用自動車の借上料や燃料代、運転手の報酬、選挙運動用ポスター、選挙運動用ビラの作成に対して、市議会議員の場合は1人当たり最大約70万4000円となる。

●請願第2号 国に対し「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」の提出を求める請願について【不採択】

Q 免税されている部分を自分の利益だという考えはよくないと思う。売り上げを向上させて税金を納めましようというのがあるべき姿であると思うが、いかがか。

A (紹介議員) 利益という言い方がよろしくないが、韓国方式みたいに購入した時点で、そのまま国税庁に税金が行くような仕組みをつくらないと、その問題は解消しない。

Q 一時的に2000億円の税収増となるかもしれないが、インボイス登録をしなかったことによる収入減、廃業となった場合が、経済的には大きな影響になるのではないか。

A (紹介議員) このインボイス制度がきっかけとなり、せっかく働こうと意欲をもっていった人たちが、早めに店じまいをするようなことになる影響はものすごく大きいと思う。

産業建設委員会

審査件数3件

●第63号 島原市温泉給湯条例の一部を改正する条例【可決】

pick up
温泉使用料の算出方法について基本量及び料金を月量、月額とし、供給の種類に関係なく超過料金を使用量に応じた区分に変更及びメーターの貸与並びに計量に基づく料金の算定を行う

Q 使用料はどのくらい変わるのか。
A 一般家庭での超過料金は、下がることになる。供給許可量以上に使用している事業者は、使用料が増えることになるが、現在、供給許可量まで使われていない者は、減る場合もある。

●第64号 建設工事請負契約の一部変更について【可決】

pick up
島原城天守閣外壁等改修工事
当初契約額
2億2391万6千円
変更後の額
2億918万7千円

Q 減額の理由は何か。
A 瓦の修復が想定より少なかった。一方、壁に関して剥離等が著しかったため、増額している。

●第68号 令和4年度島原市温泉給湯事業特別会計補正予算(第1号)【可決】

Q 電力の高騰による300万円の増額補正だが、その内容は。

A 温泉給湯所におけるヒートポンプに電気を使用しており、その電気の単価が25%程度上がっている状況が続いている。当初の見込みから300万円程度、予算が不足すると見込まれることから、今回補正予算を計上させていただいた。

教育厚生委員会

審査件数2件

●第65号 公の施設の指定管理者の指定について(有明文化会館・有明資料館)【可決】

pick up
指定管理者に「一般財団法人島原市教育文化振興事業団」を指定する。
(指定期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで)

Q 理事者側から見たこれまでの指定管理者としての島原市教育文化振興事業団の評価はどうか。

A 選定基準別点数では、「今後の在り方」に関する項目が、ほかの項目と比べるとやや低く、今後、事業団

と話し合いをしていくべきと考えられている。ただ、指定管理者選定委員会からは、特に低い点数はつけられておらず、積極的に改善を要するところはないという評価をいただいている。

Q 自主事業の運営について、事業収入は21万円程度とのことだが、各種補助金の活用を図るなど、もう少し努力してほしい。適切な運営についての議論はされているのか。

A 自主事業について、指定管理者の自己の責任と費用により自由に行うという定義があり、また、地域の文化芸術を振興しつつ、地域と共に行うものであると考えている。補助金を受けて行い、好評を得た自主事業もあるのですが、そのような事業が増やせないかどうか、しっかりと協議をしていきたい。

●第67号 令和4年度島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)【可決】

pick up
予算の総額を歳入歳出それぞれ66億6621万3千円と定める

Q 後期高齢者の推移はどうか。

A 後期高齢者医療被保険者数は令和3年度末現在で8191人である。

予算審査特別委員会

審査件数1件

審査に当たっては、まず常任委員会を単位とする各所管の分科会からの審査報告を行い、その後、総括質疑を行いました。

●第66号 令和4年度島原市一般会計補正予算(第9号) 【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ4億3713万1千円を追加し、予算の総額を262億692万円とするもの。



武家屋敷駐車場舗装等撤去工事箇所

pick up (歳出)

- ・ 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業(9事業) 1億1247万6千円
- ・ 貨物運送業等継続支援
- ・ 施設園芸等燃油価格高騰対策 給付金
- ・ 肥料価格高騰対策
- ・ 農業水利施設電気料金高騰対策
- ・ 優良肉用子牛生産推進緊急対策
- ・ 家畜飼料価格高騰対策
- ・ 国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策
- ・ 有明農林漁業体験実習施設感染防止対策
- ・ 漁業用燃油価格高騰対策
- ・ 障害者自立支援給付費 4736万2千円
- ・ 産地生産基盤パワーアップ事業 634万1千円
- ・ 武家屋敷駐車場舗装等撤去工事 120万円
- ・ 原油価格高騰の影響等による公共施設の光熱水費 4148万9千円

Q 庁舎管理経費と有明支所経費の光熱水費の増額補正について。

A 庁舎管理経費にかかる光熱水費については本庁舎の電気料金をお願いするものであり、有明支所経費の光熱水費についても、昨今の電気料金の高騰によるもので、実績として昨年よりも20%ほど増えているので、増額をお願いするものである。

Q 可燃ごみ収集集運搬業務委託料及び資源・不燃物ごみ収集集運搬業務委託料に関して、直営のときと比較して経費は下がったのか。

A 平成30年度の決算額と比較して、令和3年度では1685万円が削減されており、令和4年度では約3700万円の削減を見込んでいる。

Q 武家屋敷管理経費の工事請負費120万円については、借りている駐車場を返却することだが、返却するに至った経緯は。また、アスファルトはどうするのか。

A 現在、使用頻度が少ないことが主な要因である。駐車場としてお借りするときに市でアスファルトを敷いて整備をしているので、今回、アスファルトを剥いで原状に戻すための予算を計上させていただいている。

Q 福祉サービスに係る自治体の負担に関して、他市から本市の障害者施設に入所される場合は、どのようになるのか。

A 居住地特例において、全ての福祉サービスの利用に関する自治体の負担は、前住所地の自治体が負担することになっている。なお、障害者自立支援給付費の負担割合は、国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1となる。

Q 三会保育園と児童館の利用状況はどうか。

A 現在、三会保育園に通っている子供は4名である。児童館の利用は、令和3年度では一日平均17名で、小学生までで見ると一日平均6名となっている。

Q 小・中学校費の光熱水費が増額計上されているのはなぜか。

A 原油価格の高騰に伴い電気料金が値上がりしたことによるものである。なお、令和3年度は令和2年度と比べ13%増加しており、令和4年度は令和3年度と比べ17%の増加を見込んでいる。



※第69号議案は委員会付託なし

●第69号 令和4年度島原市一般会計補正予算(第10号) 【可決】
 予算の総額に歳入歳出それぞれ3975万3千円を追加するもの。

pick up
 「伴走型相談支援」の充実と「経済的支援」を一体として実施することにより、安心して出産・子育てができる環境整備を図る

決算審査特別委員会

●第45号 令和3年度島原市一般会計歳入歳出決算【認定】

pick up	
歳入決算額	258億1596万1810円
歳出決算額	252億6569万3871円

審査に当たっては、市長から提出された「決算の概要」、主要施策の成果説明書、監査委員から提出された「決算及び基金運用状況審査意見書」などを参考にしました。

Qまず初めに、過去数年、架空請求や粉飾を含んだ決算と知らずに審査をしていたわけである。今回のこの決算書はその心配はないのか。

Aこの度の有明の森フラワー公園指定管理における不正な経理処理に関しては、市民皆様の信頼を大きく損ねるものであり、この場をお借りして、改めてお詫びを申し上げたい。

現在、第三者委員会において原因の究明等を行っていたかとともに、市議会におかれても特別委員会を設置いただき審査を行っていただ

今回の不祥事の事実関係については、平成27から31年度までの間において行われていたものであり、令和2年度以降は、このような経理は行われていないことを確認している。したがって、御審議いただく令和3年度の決算については、不正経理等は行われていないことを申し上げさせていきたい。

今般の事案は、複数年度にわたりに行われていた不正経理であり、原因究明も済んでいない中で審議となるので、疑念を払拭できない委員もいらつしやるかとは思いますが、どうか趣旨を御理解いただき、御審議いただければと思っております。

Q庁舎管理経費の光熱水費については、旧庁舎のときと比較すると、どう推移しているのか。また、ランニングコストを抑える努力はしているのか。

A新庁舎建設前の平成27年度と比較すると光熱水費は、約390万円の増となっている。冷暖房の保守点検業務や電話交換業務委託料等については、入札方法の改善を行っている。また、修繕等が発生する部分については、職員でできる部分については自力補修するなど、経費節減に努めている。

Qコミュニティバス運行事業について、令和3年度決算における総括的なことを聞きたい。

A昨年10月に運行手法を見直し、本年8月末までの11か月間で3万6201人、月平均で約3300人、見直し前と比較すると約60倍もの多くの方に利用していただいている。たしる号にかかった経費は、消耗品、修繕料、通信運搬費、手数料、コミュニティバス予約システム保守業務委託料、コミュニティバス予約受付業務委託料、コミュニティバス運行事業補助金で、決算額は合計で328万3841円となっている。



Qお見合いシステムの登録者数、マッチングイベントの回数および結婚数はどうか。

A新規登録者は23名であり、登録者はトータルで67名となっている。また、婚活イベントについては、コロナの影響で1回の開催に留まっているが、10名が参加されている。令和3年度は3組から成婚の報告がなされている。



島原市婚活カウンセリング

Q高齢者福祉交通機関利用助成事業費について、利用状況はどうか。

A令和3年度の交付率は43・6%で実績額は、令和2年度と比較すると約200万円の減額となっている。

Q市民清掃で出たゴミについては、有明地区は地元の人が運搬しているが、高齢化になるとできなくなる。見直しは考えているのか。

Aやり方や回収方法について、見直す時期にはきていると考えている。

Q県営事業費負担金について、三会原地区の個人負担はどれくらいか。

A三会原地区の区画整理については5%、畑かん施設については7・7%が受益者負担である。

Q 鯉の泳ぐまち魅力アップ事業について、夜の観光の魅力アップを図るためのライトアップ事業はこの委託料の中に含まれているのか。

A 鯉の泳ぐまち界隈をライトアップしたことがあるが、効果が低かったということ、その事業は現在実施していない。

Q 以前から問題になっている島原城の土地借上はどうなっているのか。

A 購入について、所有者、ご家族に相談しているが、現在購入に至っていない。なお、借上料については、従前は非課税としていたため近隣の土地評価を参考に算出していたが、平成31年度以降は評価を行い、行政財産使用料条例を基に算出し、相手との話し合いで決定している。

Q 有明の森フラワー公園の物産館において、生産者が納めた商品代金が振り込まれなかったことがあったようだが、今の支払い状況はどうなっているのか。

A 指定管理業者に、ヒアリングで未払いがないか確認したところ、仕入業者2社に完済されていないという回答を受けている。ただ、その2社については遅れる旨の了解を得ているとの報告を受けている。

Q 交通安全施設等整備事業費について、区画線が消えているところが多いが、予算は確保できているのか。

A 毎年約300万円の予算で、学校や病院周辺など緊急性が高いところから区画線を引いている。来年度は予算をしっかりと確保して交通安全施設についてやっていきたい。

Q 老朽危険空き家除却支援事業費について、住宅の居住部分の除却が対象とのことだが、実績は。

A 平成28年度から現在まで76件の空き家を除却した。

R 店舗や倉庫なども助成の対象にしてほしい。商店街の店舗、道路沿いの倉庫や土蔵など朽ちて怪我する心配もある。併せて空き家対策の要綱や条例を整備してほしい。

Q 浄化槽処理経費6669万円でのくらい整備ができたのか。

A 令和3年度は155基分を助成した。令和4年度から汲み取り槽の撤去補助、また、宅内配管の補助を始めており、現時点での利用実績は汲み取り槽の撤去に51軒、宅内配管に72軒の補助を行っている。



Q 土地を借り上げているのは何分団あるのか。消防団員も増えないのが実態であり、ある程度広いところに分団を集約させる方法もある。借り上げていくのか再編を考えるのか、検討はしているのか。

A 7個分団が土地を借り上げている。審議会において、消防団員の定数と管轄地域について、審議をしていただいている。答申の後、統合等を含めた詰所の位置等も検討していきたい。

Q 公民館運営費に関連して、各地区の公民館主事について、地域に密着した公民館運営ができる人員配置を検討してほしいが、人員配置の配置基準などはあるのか。

A 人事異動は市全体で考えていくものであるが、職員の出身地区や今までに経験した部署など、総合的に判断をしている。

Q ICT推進事業経費に関して、新型コロナウイルス感染症対策のための学習支援の状況はどうか。

A 約半数の学校でオンラインによる学習配信を行っている。WiFi機器の貸し出しなど、通信環境は整備しており、活用して、教育格差がなくなるように取り組んでいきたい。

Q 市美術展経費に関して、展覧会の開催準備を簡単にできるような環境や多くの人に見に来ていただけるような環境の整備が必要だと思いが、どうか。

A 島原文化会館を令和8年度で廃止予定としていることも踏まえ、今後の施設の在り方というのを再度検討する必要があると思っている。いろんな施設が老朽化しているので、そういった面も含めて総合的に検討していきたいと考えている。

Q 学校給食経費に関して、食物アレルギーのある児童・生徒に対しても等しく学校給食を提供するため、給食センターをつくるべきではないか。

A 今後の本市の学校の適正配置といたところも十分考えていきながら検討していきたい。

R 災害復旧の事業等を行う際は、専決処分で事業を行うというのではなく、議会に諮ってきちんとした形で行っていただきたい。国からの事業費があるという中でも、専決処分を実施するということはあまりよいことではないと思うので、議会に理解を得る、臨時議会などを開くような対応をしていただきたい。

市議会からのお知らせ

「議会中継」「会議録」「議会だより」

議会中継

本会議はケーブルテレビ、インターネットで視聴できます。
また、FMラジオでも放送されています。
(市議会のホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/> から傍聴・議会中継へ)

会議録

会議録は、島原図書館、有明図書館、市内各公民館及び議会図書室にて閲覧することができます。また、市議会ホームページで平成5年以降の会議録を閲覧・検索することができます。
(市議会のホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/> から会議録の検索と閲覧へ)

議会だより (音声版) (点訳版)

議会だよりは、定例会ごとに年4回発行し、市内各世帯に配布しています。
また、目の不自由な人向けに音声版、点訳版を島原声のボランティア「ゆずの会」及び島原点訳サークル「がんばっ点!」の皆さんのご協力により、それぞれ発行しています。
◇音声版、点訳版を希望する人は、福祉課障害福祉班にお問い合わせください。 電話63-1111 内線273

発行／島原市議会
編集／議会だより編集委員会

〒855-8555 長崎県島原市上の町5-3-7番地
TEL0957-62-8027 (直通) FAX0957-64-6588
島原市議会ホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/>

次回定例会開会予定 3月1日 (水)

●時間：午前10時 ●場所：本庁舎4階 市議会議場



議 場



傍聴席

● 編集後記 ●

令和5年の幕が開け、今年最初の議会だよりの発行となります。
皆様にとりまして本年が幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。
さて、去年は原油価格や原材料費、また、急速な円安による物流費の高騰が家計を直撃する値上げにつながりました。今もなおその状況は変わらず、家計を圧迫する厳しいものとなっています。
また、同じように各事業者や公共施設への影響もあり、12月定例会では、市役所庁舎の電気料金の追加計上をはじめ、各事業者の経営安定化や事業継続の支援を図るため、緊急経済対策事業の補正予算を議決しました。
事業を実施することですぐに効果が見えるとは限りませんが、常に市民生活に寄り添える市議会でありたいと考えております。
今年もよりよい紙面づくりに心がけてまいります。
議会に対する市民皆様のご意見等をお寄せください。

編集委員

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎濱崎清志
- 上田義定
- 楠 晋典
- 本多松弘
- 松井大助
- 北浦守金
- 生田忠照

次回は
5月1日
発行予定です
(年4回発行)

